

## 【見どころ案内】

### 霞川

市街地の中をゆったりと流れる霞川は、川淀には鯉が泳ぎ、川面に映る四季折々の景色が美しい水辺の空間です。桜の季節には必見のスポットです。



### 高倉寺

創建は弘治から元亀年間（1555～1573）とされる曹洞宗の古刹。鎌倉時代の禅宗建築（唐様）の様式を伝える観音堂は国指定重要文化財です。



### 八津池

昔は、このあたりの谷間の水田（八津田）に水を引くために加治丘陵の沢水を溜めた池でした。現在は住宅地に囲まれた静かな公園となっています。

### アイポット サイオス ipot, SAIOS

入間市の中心市街地にある2つの再開発ビル。映画館、ポーリング場、レストランなど様々な施設が集まった、多くの人でにぎわう新スポットです。



### 愛宕公園

奥秩父産の自然石を使った県内でも数少ない日本庭園づくりの公園。四季を通して梅、桜、ツツジ、アジサイ、モミジなどの植物がさまざまな色彩と香りを感じさせてくれます。



### 牛沢のカタクリ自生地

3月中旬から4月上旬にかけて可憐に花開く姿は、まだ他の植物達が芽を出していない雑木林の林床を鮮やかに彩ります。



## ① 里山をめぐる

【距離】 約6km 所要時間 約1時間40分

桜並木の続く霞川から、茶畑の広がる高倉の台地に上り、さらに緑濃い加治丘陵を越えるコースです。四季を通じて里山らしいのどかな風景が楽しめます。

●コース（※【50】は入間市景観50選です。）

[入間市駅]→霞川の桜堤【50】→高倉寺【50】→高倉の茶畑景観→加治丘陵の雑木林→八津池公園【50】→旧グリーンロッジ前からの展望【50】→グリーンロッジは現在使用できません。→[仏子駅]

元気な 入間ふれあい茶ん歩道 7つのコース  
いろいろな入間市にふれあってください。

- ①「里山をめぐる」
- ②「入間川を歩く」
- ③「湧水をめぐる」
- ④「加治丘陵を楽しむ」
- ⑤「茶畑と丘陵を歩く」
- ⑥「狭山茶の歴史を訪ねる」
- ⑦「武蔵野を歩く」

### お願い

- ゴミは捨てないで家に持ち帰りましょう。
- 火の元には十分に注意しましょう。
- コース外の畑や山林に勝手に入らないようにしましょう。
- 山野草を採らないでください。みんなの自然を守りましょう。

### 交通のご案内



発行 入間市役所農業振興課 (2017.11)

〒358-8511 埼玉県入間市豊岡1-16-1 TEL 04-2964-1111

ホームページアドレス <http://www.city.iruma.saitama.jp/>

モバイルサイト <http://mobile.city.iruma.saitama.jp/>

無断転載・複製を禁ず

# 元気な入間 ふれあい茶ん歩道

## ① 里山をめぐる



埼玉県入間市



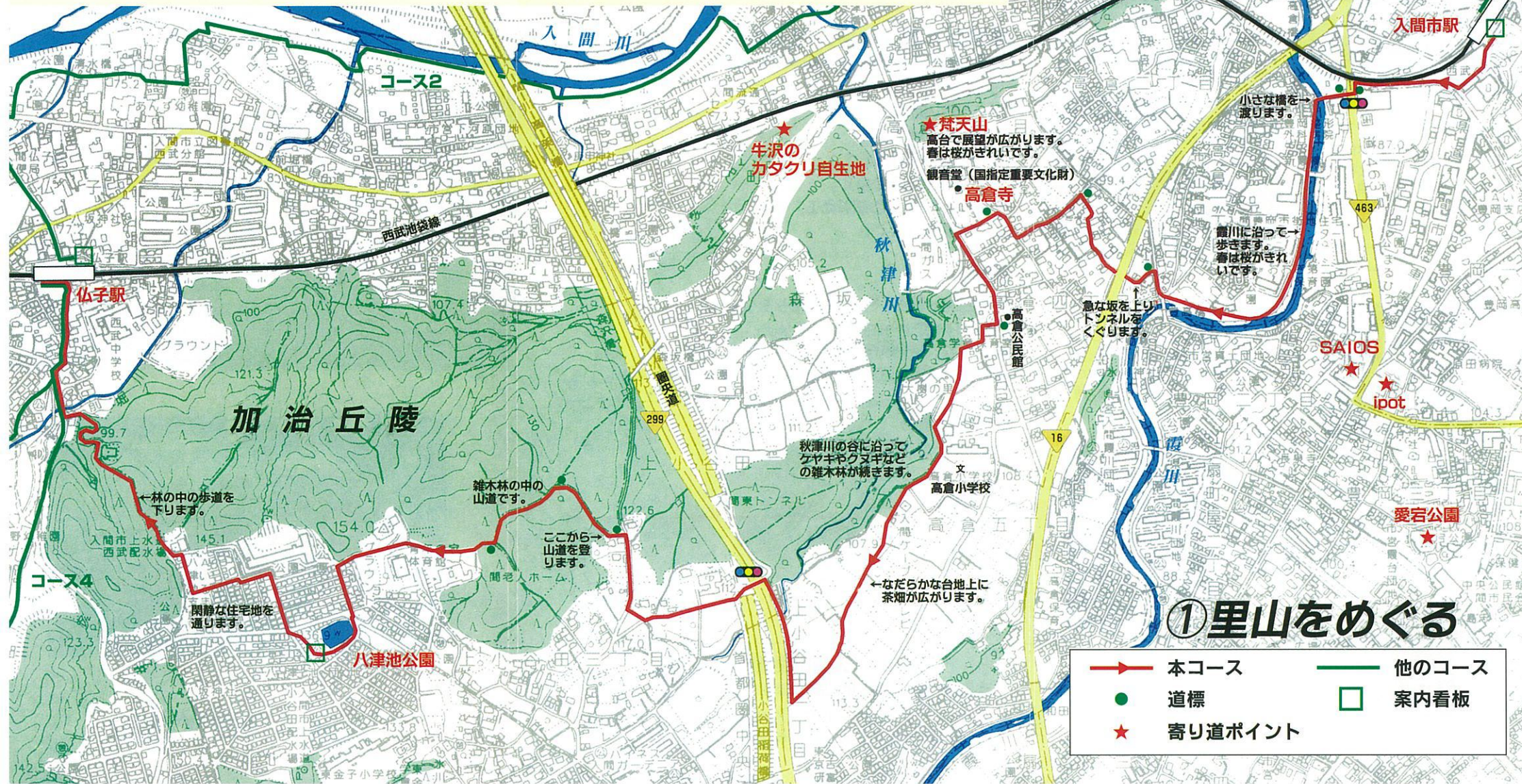
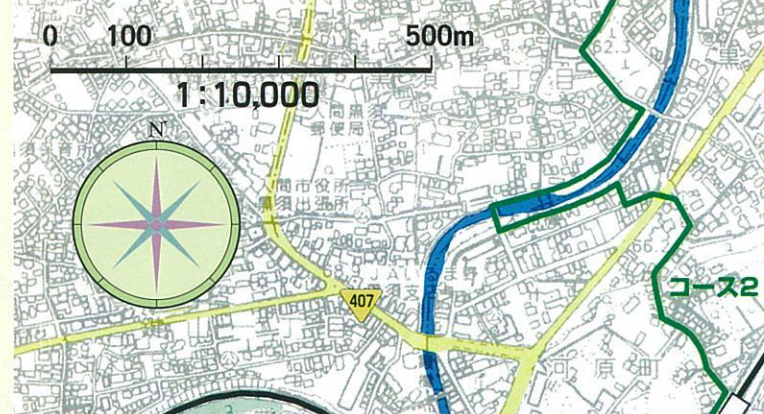


# ふれあいマメ知識 「里山」って何？

里山とは、薪炭林や農用林として利用されてきた林やそれに隣接した農地や集落などを含めた環境全体を指します。

その昔、現在のようにガスや石油・電気を日常生活の燃料として使用していなかった頃、燃料といえば薪や炭が一般的でした。また、その頃市内の産業は農業が中心で雑木

林の落ち葉を集め堆肥として利用していました。そのため、丘陵はもちろん平地でも雑木林や松林が大切に育てられ管理されていました。しかしながら高度経済成長期以降、そのような用途で利用がされなくなり、雑木林は次々と住宅や工場などに姿を変えてしまい、里山と呼べる風景は本当に少なくなってしまいました。



## ①里山をめぐる

- 本コース
- 他のコース
- 道標
- 案内看板
- ★ 寄り道ポイント

★**梵天山**  
高台で展望が広がります。春は桜がきれいです。

★**牛沢のカタクリ自生地**

小さな橋を渡ります。

霧川に沿って歩きます。春は桜がきれいです。

急な坂を上りトンネルをくぐります。

秋津川の谷に沿ってケヤキやクヌギなどの雑木林が続きます。

ここから山道を登ります。

←なだらかな台地上に茶畑が広がります。

←林の中の歩道を下ります。

閑静な住宅地を通ります。